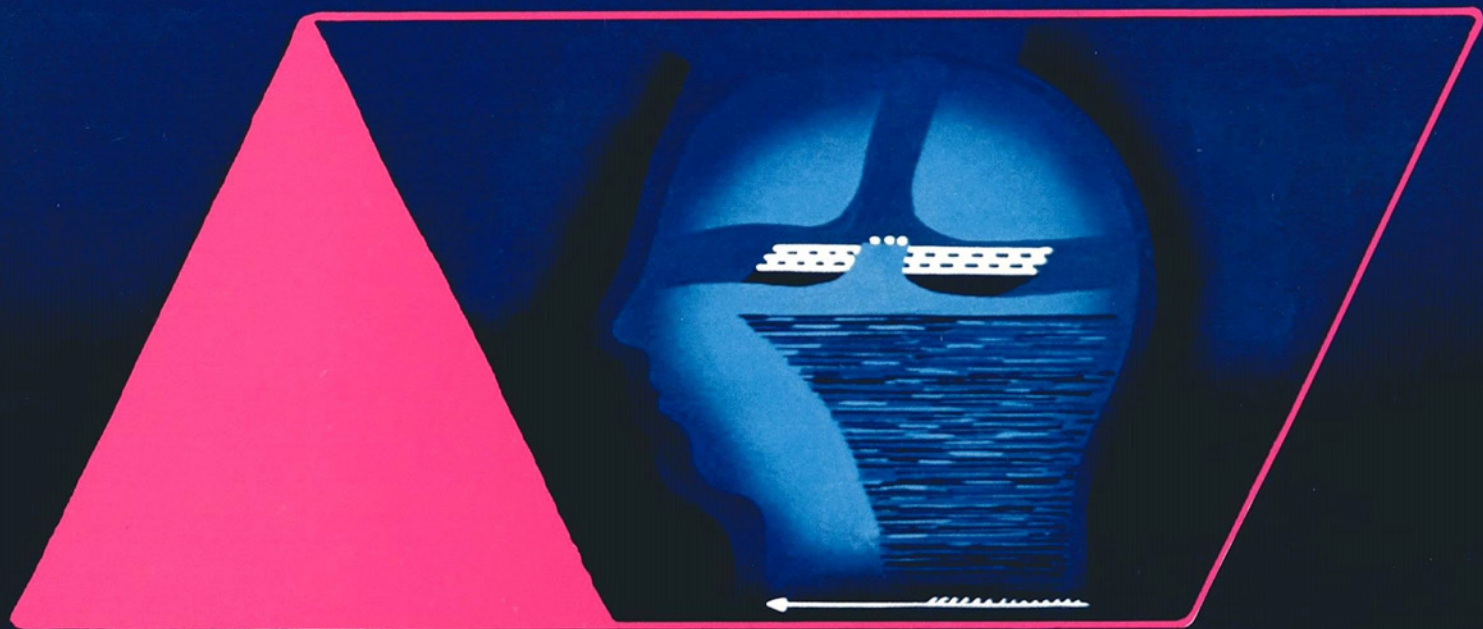


神奈川芸術祭
第12回神奈川県美術展



神奈川芸術祭 第12回 神奈川県美術展

■コンクール部門・招待部門〈日本画・洋画・版画・彫刻・立体造形〉

昭和52年2月9日——2月23日

■コンクール部門・招待部門〈工芸・書・写真〉

昭和52年2月26日——3月13日

会場——神奈川県立県民ホール

主催——神奈川県美術展委員会

神奈川県教育委員会

神奈川県

あいさつ

第12回神奈川県美術展の開催にあたって一言御挨拶申し上げます。

県内の文化の振興と新人作家の育成を目的とした本展は、昭和41年に県内美術関係者の熱意と努力とによって誕生したものであります。

当初は絵画・彫刻部門の公募展と招待展で発足いたしましたが、その後工芸・書・写真部門を加えて県内最大規模の美術展に発展してまいりました。

また年々開催ごとに応募点数も増え、質的にも向上し、成果をあげてまいりましたことは、大方の識者の御承知のところであります。

また、今回のこの第12回展は、県が長洲知事の主唱により新たに企画・開催した「神奈川県芸術祭」の中心事業に加えられ、例年の通り県民ホールにおいてこの様に盛大に開催できましたことは、関係各位の絶大なる御協力のたまものと深く感謝いたすところでございます。

終りに県民の方々の文化意識が高まりつつある今日、本展開催の意義はきわめて深いものがあると確信いたしますので、私ども関係者は、引き続き本展発展のため一層努力してまいる所存でありますので、今後とも皆様の御鞭撻と御協力を切にお願い申し上げる次第です。

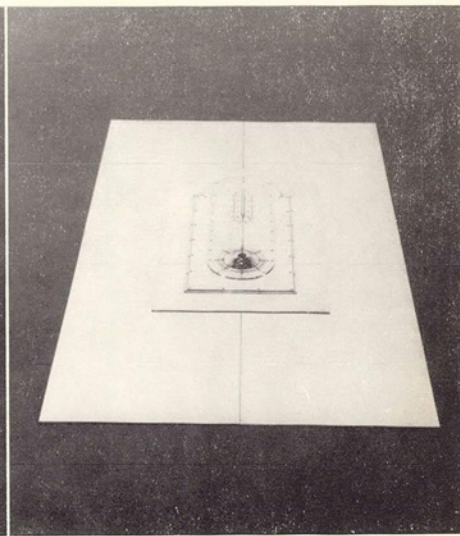
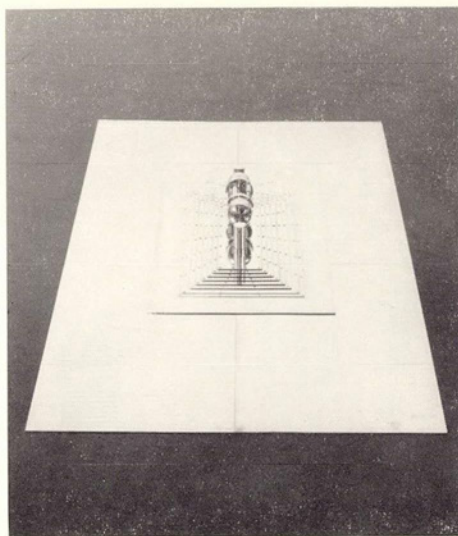
昭和52年2月9日

神奈川県美術展委員会

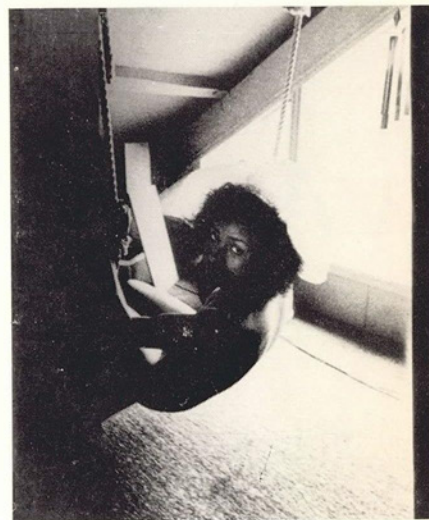
委員長 穴水 清彦

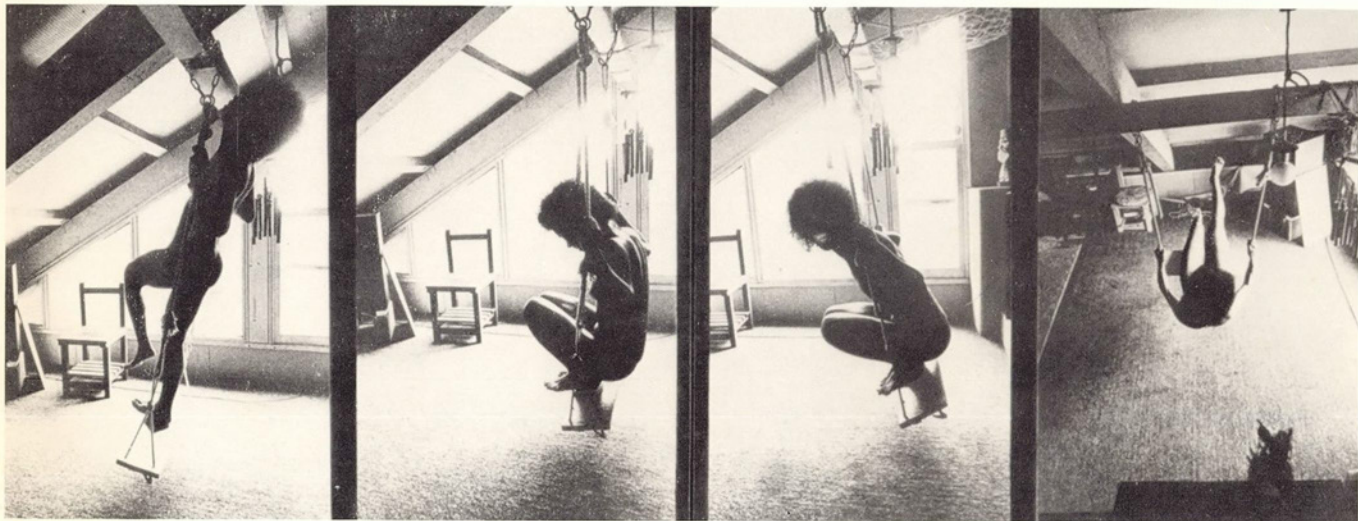
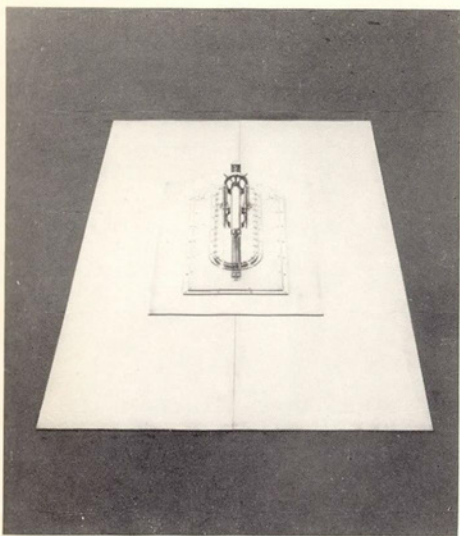


大 賞 泉谷淑夫 愁傷のモニュメント (洋画)

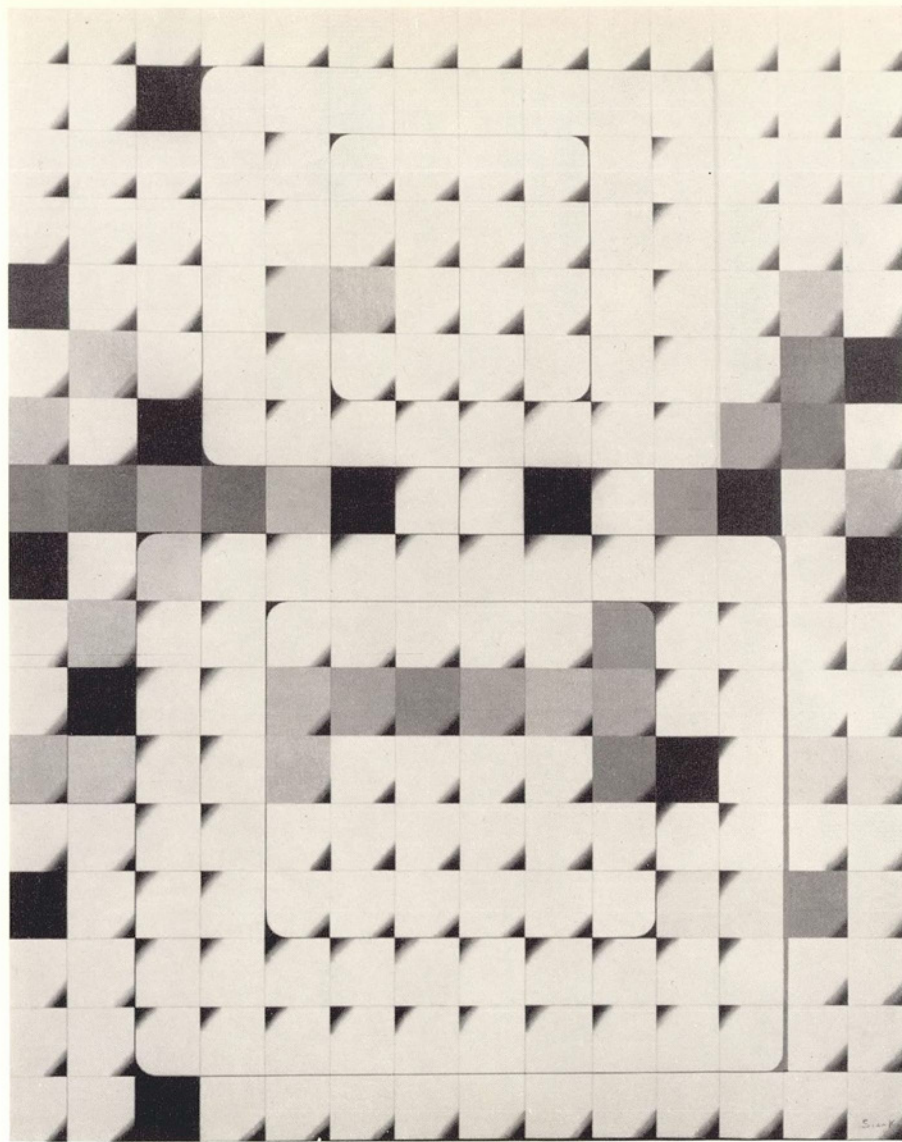


準大賞 原田和男 ONE OF COSMIC JUNCTION (立体造形)





準大賞 高橋 勤 MELANCHOLY (写真)



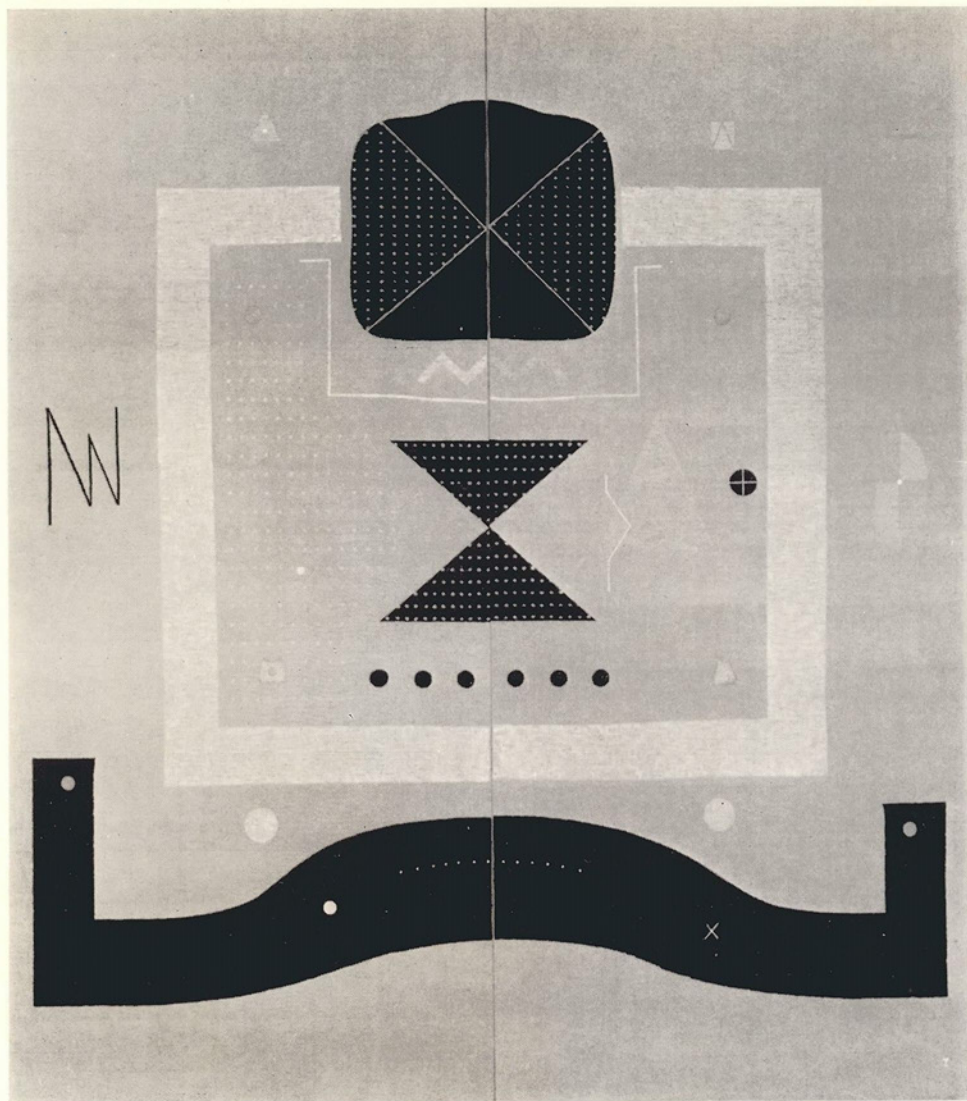
近代美術館賞 内柴静子 作品 '77(1) (洋画)



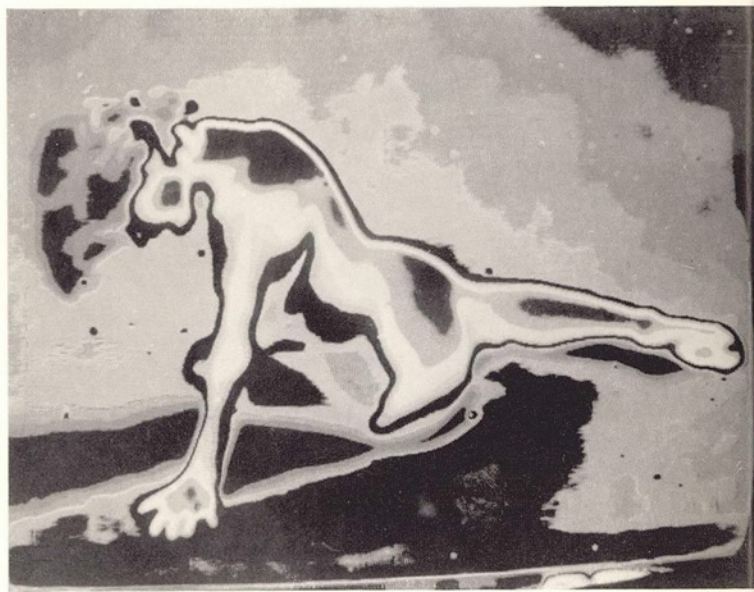
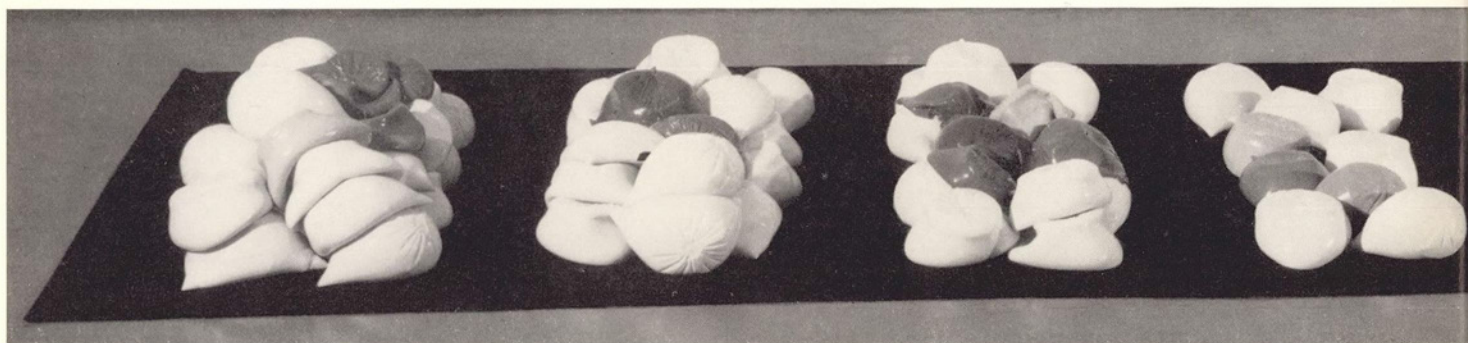
県議会議長賞 鈴木紀彦 墟<デルフォイの神威> (日本画)

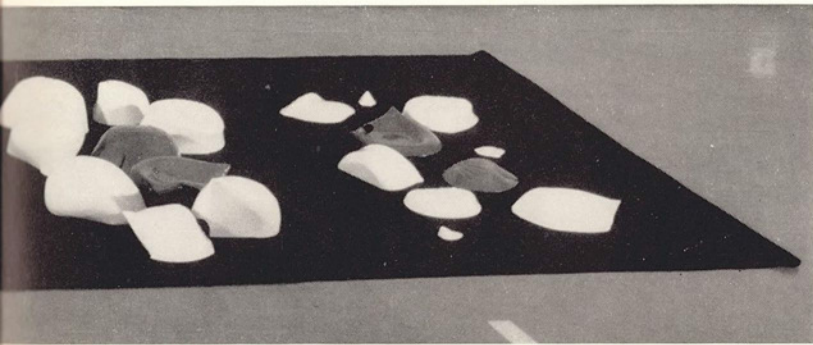


特選 宮田翁輔 人形と仮面と (洋画)

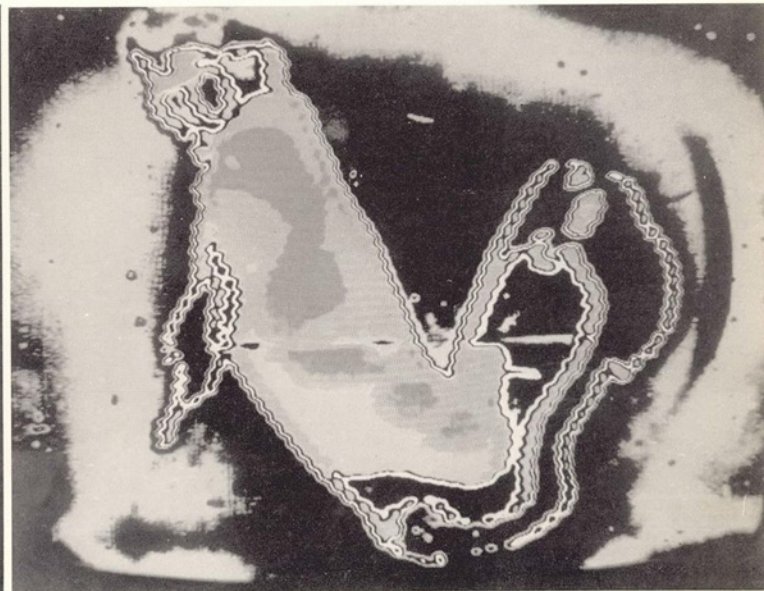
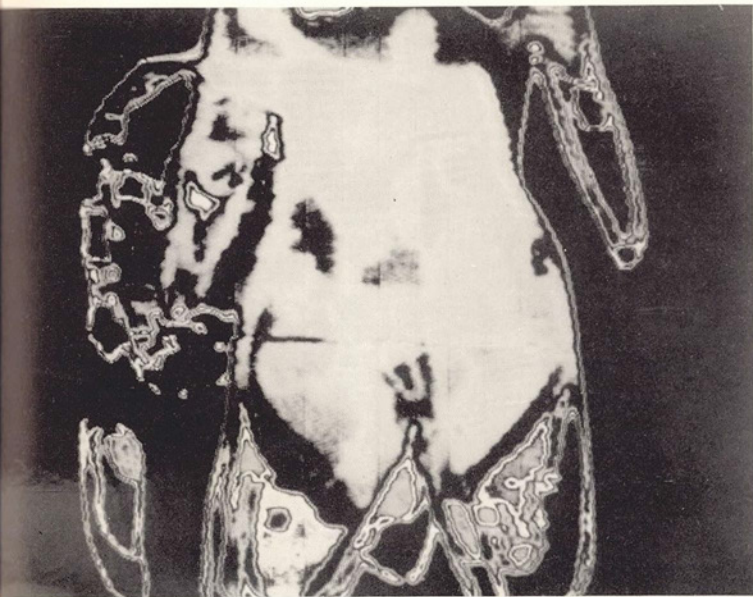


特選 山下了是 小さな音 (工芸)





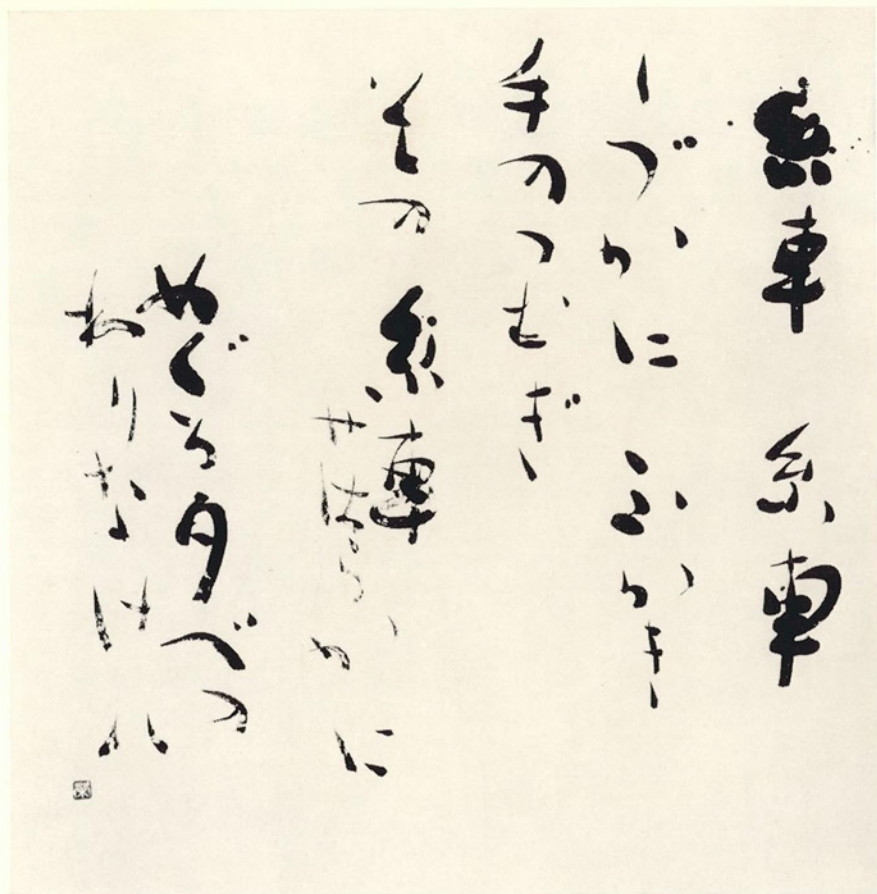
特選 金子安規 追いつめられた袋たち (立体造形)



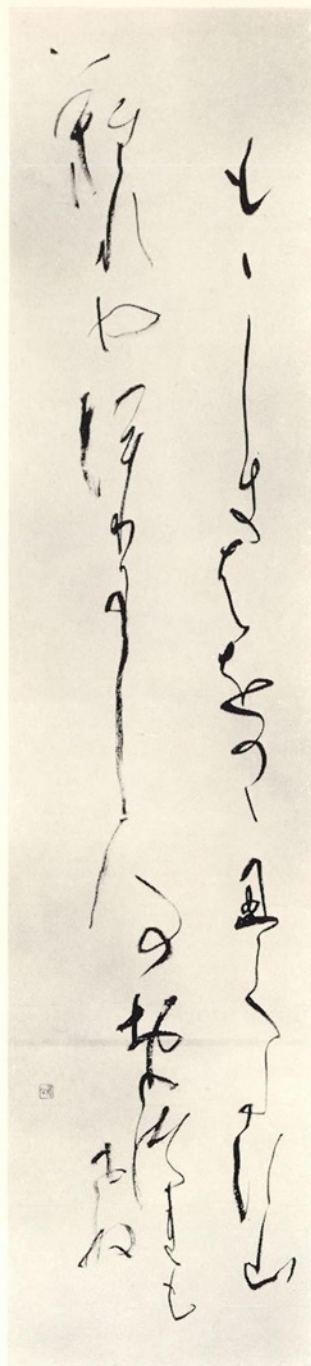
特選 菅家隆雄 女体 (写真)



特選 村主 武 ペルシャ青磁釉壺 (工芸)



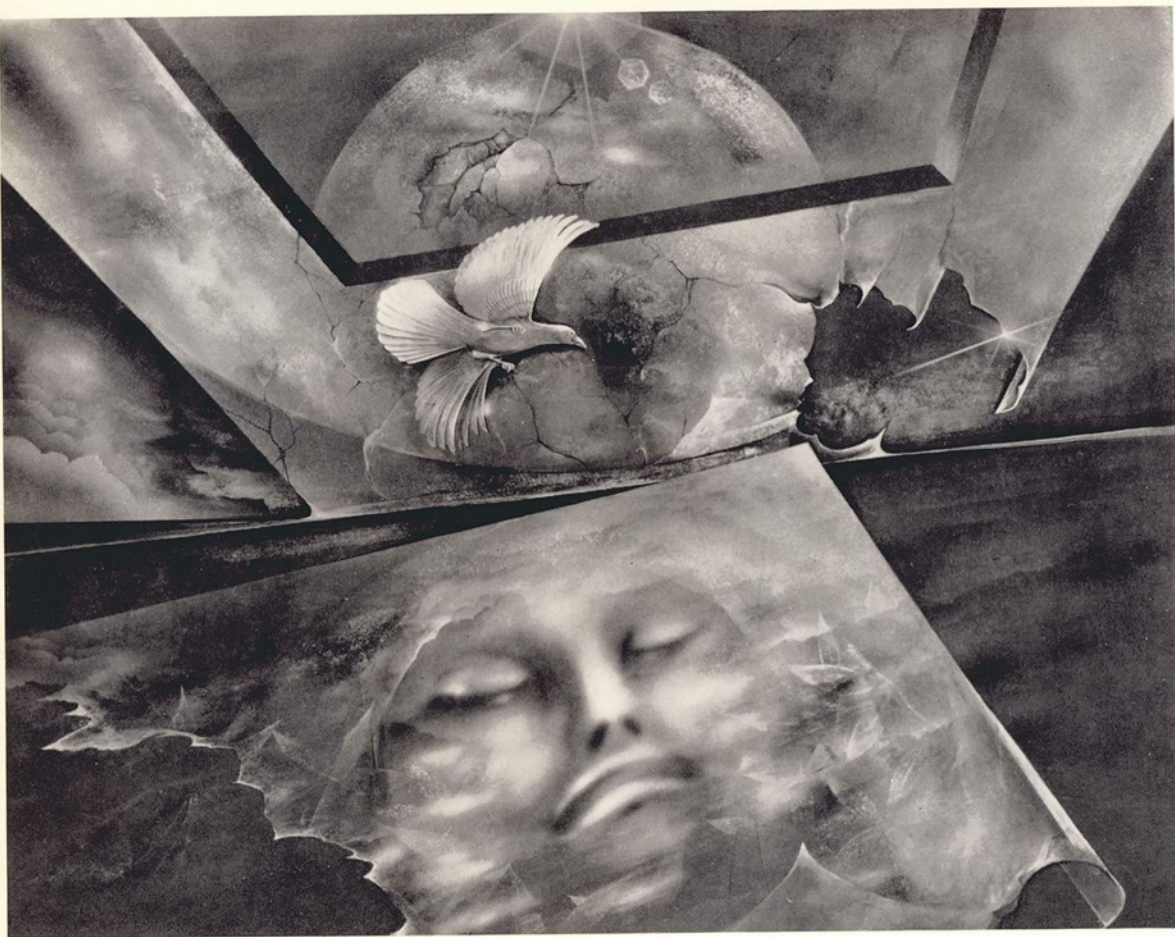
特選 平本栄子 糸車 (書)



特選 石川蒼丘 謙徳公の歌一首 (書)



美術奨学会賞 長沢昭朗 毀 (日本画)



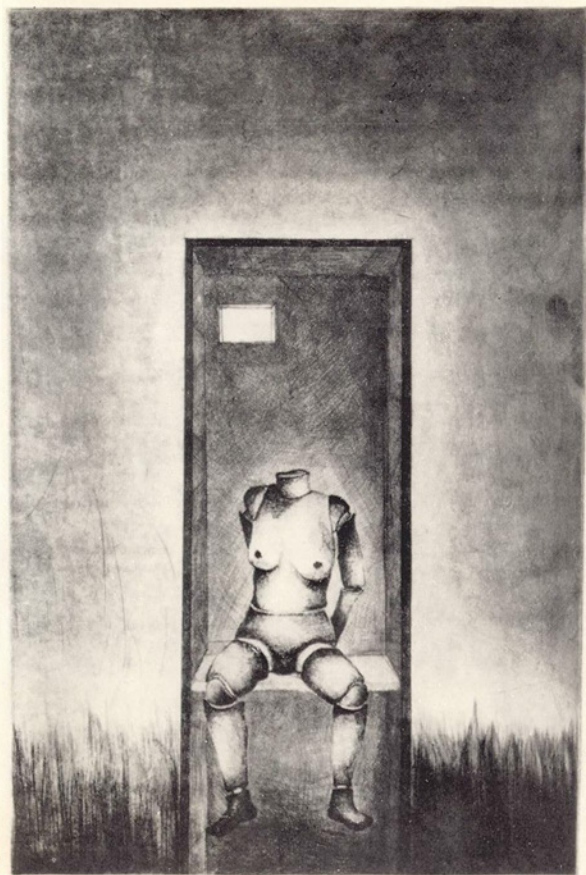
美術奨学会賞 加藤敏夫 虚空 (日本画)



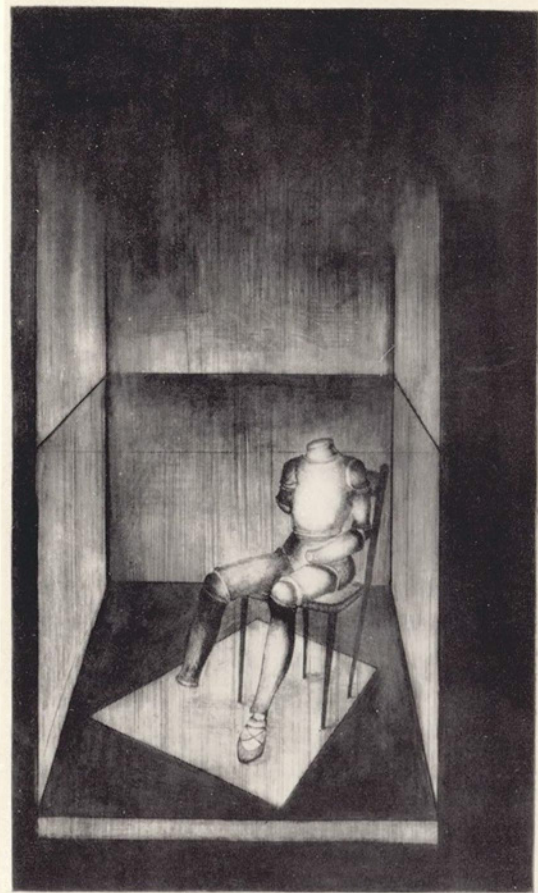
美術奨学会賞 李 赫 女の首 (彫刻)



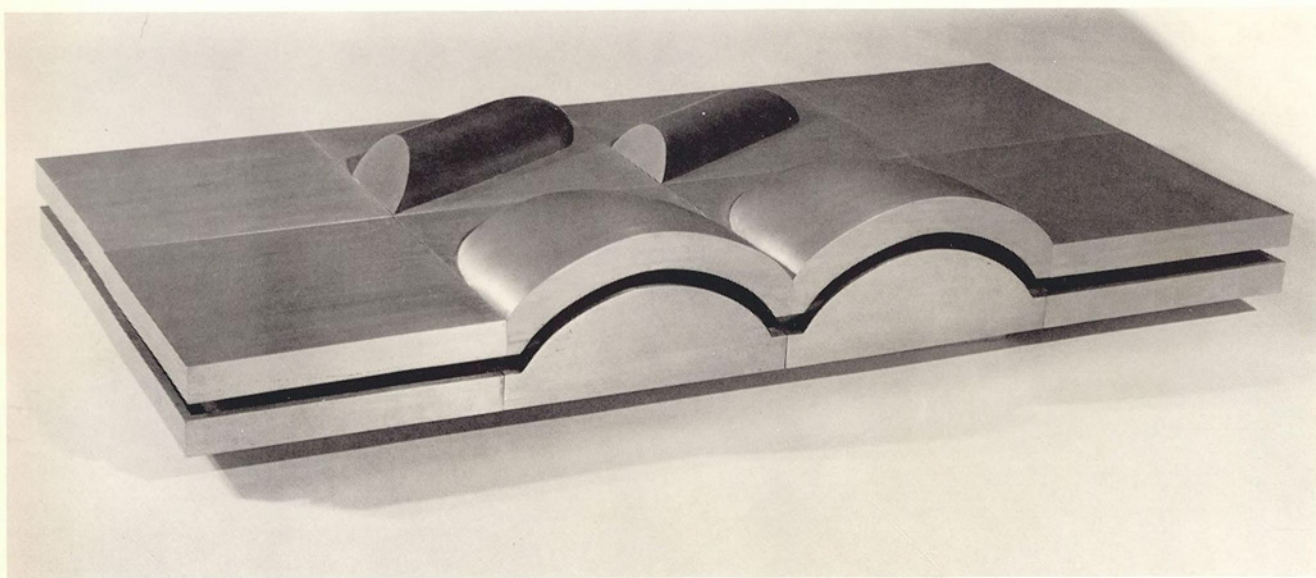
美術奨学会賞 佐久間恭子 ある落日 (版画)



美術奨学会賞 鈴木ヨシオ 箱の中の光景一女 (版画)



箱の中の光景一男 (版画)



美術奨学会賞 辻 雅洋 BOX No. 2 (工芸)



美術奨学会賞 永田秋岳 小菊文色紙箱 (工芸)



美術奨学会賞 江成房子 萌芽 (工芸)



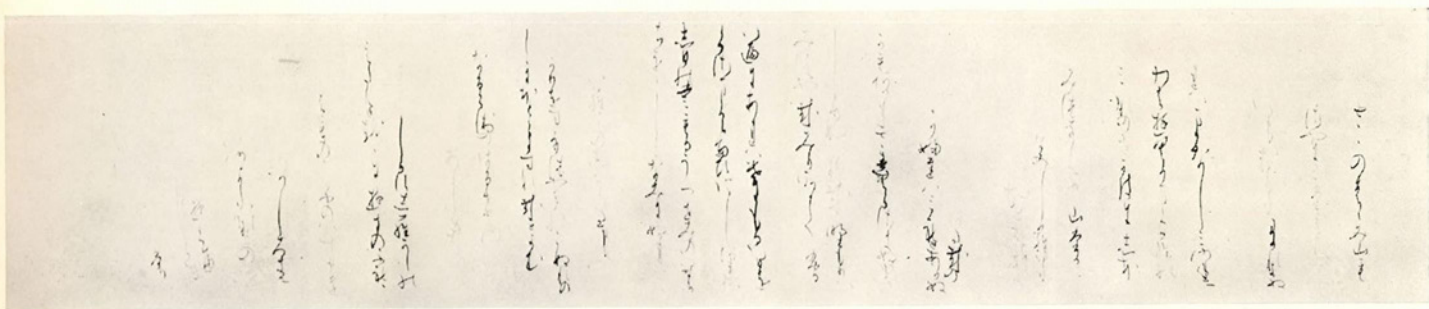
美術奨学会賞 竹村佳男 とざされた街 (工芸)



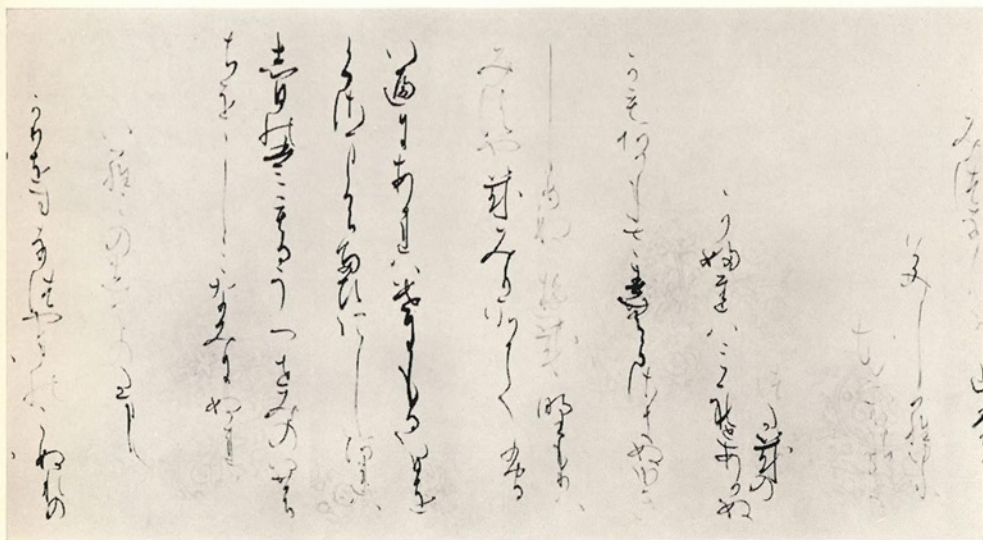
美術奨学会賞 吉田亜火祢 ある曲面 (工芸)



美術奨学会賞 竹内鳳仙 迪 (書)



美術奨学会賞 赤松万寿枝 万葉のうた (書)



部分



美術奨学会賞 浜谷了一 獅子舞うA (写真)



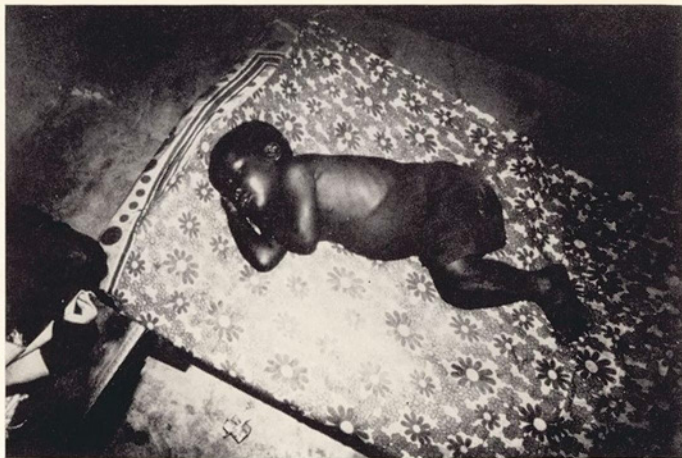
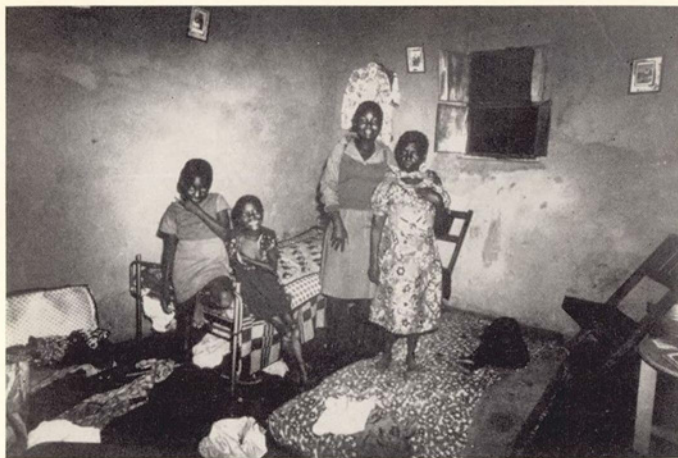
美術奨学会賞 片岡順一 ゆれる街 (写真)

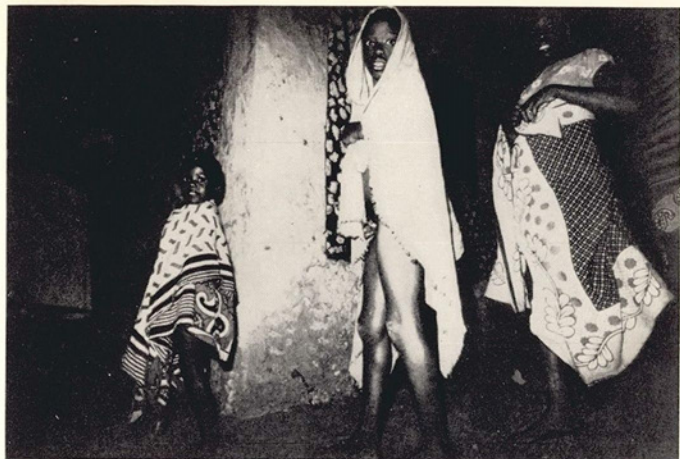


美術奨学会賞 伏見 宏 あねご (写真)



美術奨学会賞 榎田 守 祭礼 (津久井町) (写真)

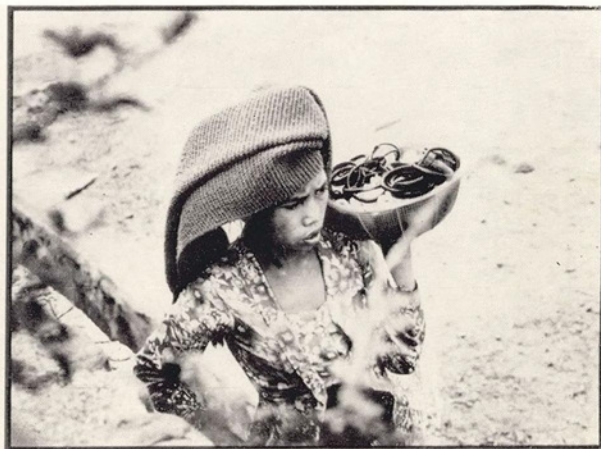
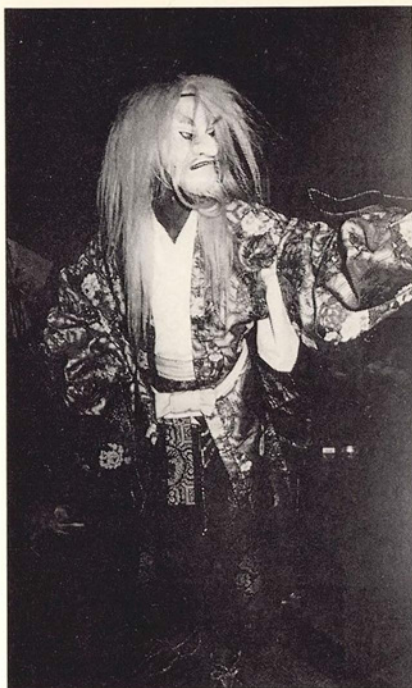




美術奨学会賞 上平 昇 ケニアの家族 (写真)



美術奨学会賞 武田 聡 横須賀ストリート (写真)

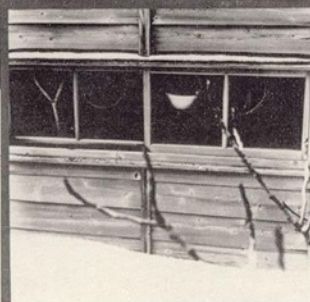
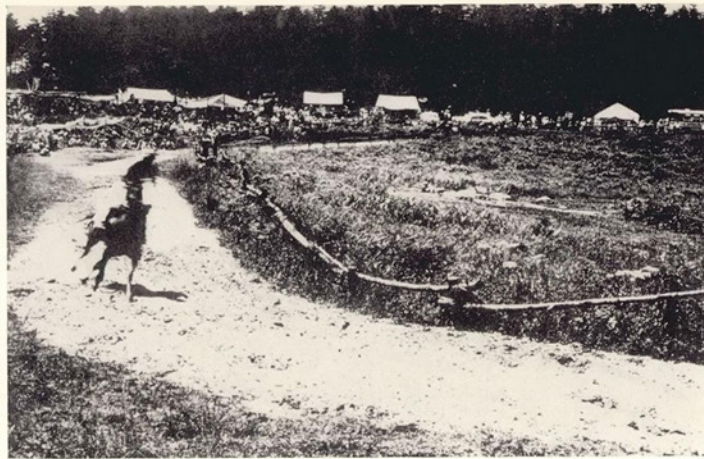


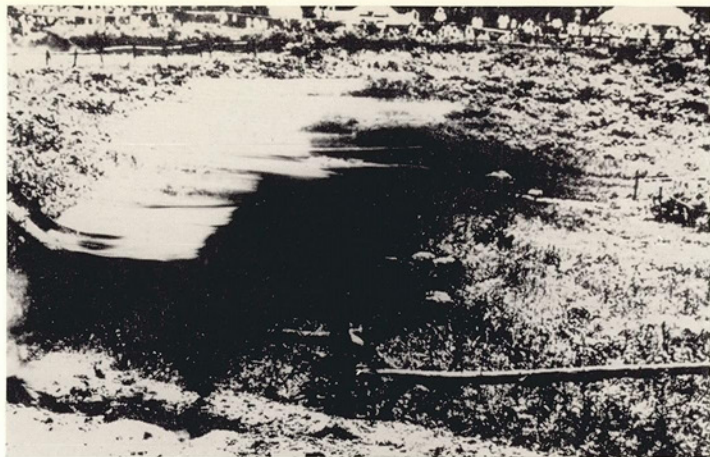


美術奨学会賞 石黒忠夫 矢上の神代かぐら（横浜市日吉町）（写真）

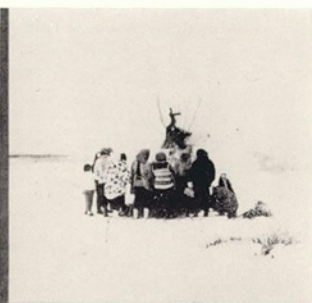


美術奨学会賞 鯉登勝彦 集団物売り（バリ島）（写真）





美術奨学会賞 香山 修 草競馬 (写真)



美術奨学会賞 加藤惣平 北のたより (写真)

コンクール部門出品目録

大 賞

泉谷 淑夫 愁傷のモニュメント (洋画)

準大賞

原田 和男 ONE OF COSMIC
JUNCTION (立体造形)

高橋 勤 MELANCHOLY (写真)

特 選

宮田 翁 輔 人形と仮面と (洋画)

金子 安規 追いつめられた袋たち
(立体造形)

山下 了 是 小さな音 (工芸)

村 主 武 ペルシャ青磁釉壺 (工芸)

平本 栄子 糸車 (書)

石川 蒼丘 謙徳公の歌一首 (書)

菅家 隆雄 女体 (写真)

美術奨学会賞

長沢 昭朗 毀 (日本画)

加藤 敏夫 虚空 (日本画)

佐久間 恭子 ある落日 (版画)

鈴木 ヨシオ 箱の中の光景一男
箱の中の光景一女 (版画)

李 赫 女の首 (彫刻)

永田 秋岳 小菊文色紙箱 (工芸)

辻 雅洋 BOX No.2 (工芸)

竹村 佳男 とざされた街 (工芸)

吉田 亜火祢 ある曲面 (工芸)

江成 房子 萌芽 (工芸)

加藤 州処 張孟陽七哀詩二首 (書)

竹内 鳳仙 迪 (書)

四宮 撫琴 梅堯臣詩 (書)

栗橋 東崖 龔自珍詩驛鼓三首 (書)

赤松 万寿枝 万葉のうた (書)

武田 聡 横須賀ストリート (写真)

浜谷 了一 獅子舞うA (写真)

石黒 忠夫 矢上の神代かぐら
(横浜市日吉町)

片岡 順一 ゆれる街 (写真)

榎田 守 祭礼(津久井町) (写真)

加藤 惣平 北のたより (写真)

鯉登 勝彦 集団物売り(バリ島) (写真)

香山 修 草競馬 (写真)

上平 昇 ケニアの家族 (写真)

伏見 宏 あねご (写真)

近代美術館賞

内柴 静子 作品'77 (I) (洋画)

県議会議長賞

鈴木 紀彦 墟<デルフォイの神域>
(日本画)

入 選

日本画

豊田克文	思い出
井出文洋	野焼き
中堀慎治	交差する記憶
高田実	貨車
平岡栄二	悠悠
田部井月四	アキコと私
松浦喜美枝	立つ
大島司郎	交又
小島敬介	流花
佐藤隆良	浜
香野ルミ子	落日
川井勝美	残影
大嶋実	窓のある風景
伊藤利子	民話一タ鶴
仙波存乃恵	猫礼讃
前本利彦	二月の肖像
伊藤彰耳	訶梨帝母
大貫文江	いしずえ
浅見信夫	朝
桜庭春来	作品I
桜庭春来	作品II
野崎丑之介	異変I

洋 画

檜垣檀	Ornis—やすらぎ
渡部洋	椅子I
渡部洋	椅子II
中山堯	南大門
宮田翁輔	人形たちの夜
石塚健児	家族1
石塚健児	家族3
梅田東巳	ヴェンスの午後
土井隆	凝視I
大北利根子	HANGING
高橋晶子	静物
中尾勝行	生コン工場
堀井正明	花火のあがる頃
堀井正明	夏さかり
佐藤武	界一扉は永遠に閉ざされた
菅野昌實	双輪炎
吉見博	新聞と帽子
谷川義美	北の根、春夏秋冬
金子一治	PIAZZA(3)
三橋敦子	少女と小鳥
庄司健一	二人
赤堀通夫	壁
奥田紘	時差するカード
長崎満治	富山県五箇山民家
岩瀬徳矢	カタコンベI
松野俊雄	北の岬
泉谷淑夫	悠久
河本正雄	海辺の兄弟
山本巖	魔船と夕景
加藤恭夫	パラソルの下で(II)
柏木隆一	27の春と女達(C)
清原太郎	縁日の夜
富樫京子	不眠—カップル

阿部照夫	ある日の午後
村田勇三	その時の今・L
九多持	1976II
田渕俊人	冬天譜(I)
田部井要	走る(子どもの夢)
田部井要	海辺のこと
村岡千秋	聚落
青木道夫	ある日の予告 No.2
山名将夫	関係と認識(シリーズ・月)
山名将夫	関係と認識 (シリーズ・ブラインド)
山室紀元	林間の湖
佐々木ようこ	とざい・とうざあい
臼井恵之輔	昆虫 77-1
勝俣正次	夜想曲
香川久子	緑の館
大西優子	流浪III
西村充	ダム
中山典雄	妻をふむ(I)
大村正一	日向
沼尾満	染色体76-03
鶴田昭夫	孤影B
宮滝恒雄	存在2
藤原寛子	SHIP(N)
香川猛	像 2
古沢進	午後の漁村風景
高橋和夫	帰り道
本田貴子	想
上原一郎	ひなたぼっこ

水彩画

まつばらけん 波舞(I)
池上念己 迫り来るもの

版画

森本修一 界-3
加藤豊紀 大地の誕生(浸食)
白駒登志夫 遠い風景
山田隆志 SHADOW
横井清賢 木枯しのフルート
井上郭子 もののけ
井上郭子 もののけ-ある勇者
加藤広志 ひとり・うつろな午後
加藤広志 ひとり・惑いの午後
井口則夫 To err is human II
五島三子男 Memory of Landscape I
川瀬きみ子 SEI-14
曾我朝彦 古代の幻想
長沢康子 郷愁
山本良子 シルクロードB
岩井泉 静物
須山孝 横浜(ストリート) No. 2
寺田有恒 城壁
佐久間恭子 寂しさの歌
笹村一夫 卓上の静物
天野純治 EDGE 77 E-2
天野純治 EDGE 77 E-3
太田廣 New landscape 1
太田廣 New landscape 3
白川雅啓 Perception No. 7
constraction B-part 1
菊地昭 1977.1. 5 "my Work"
菊池昭 1977.1.13 "my Work"

細谷正男 Connect 76 No. 1
刈崎昇 ROCKN ROLL

彫刻

金子篤司 瑤子像
関与一 裸婦
柏原花子 トコ
加藤かず子 裸婦
男谷浩一 空間と
井上麦 脱皮
関正司 飛行少年
坂井彰夫 風の中(頭部)
前島健治 男
李赫 立つ女・1
出口晶富 黒のイメージ
大内稔 たばこ髪
角野武博 踊
森田やすこ 真美
池田清史 首・130
麻田昭作 夏の終りに
増田春雄 変成

立体造形

坂田一之 MAJOR IMPRESSION
平野由江 黒の輪廻
羽生雅則 MELTING POINT
(APPLES)
加藤正博 作品A
加藤正博 作品B
入江克明 無化へー1
入江克明 無化へー2
藤田仁 ジョイント 1977・1
伊藤康彦 ステーション'77

高橋勝 旅行者(12の詩片)
高橋勝 旅行者(文明の構造)
八田高明 ないしょばなし

工芸

森田洋子 壺(卵から生れた女A)
森田洋子 " (" B)
吉野碧 石の器
金子一治 廃墟
吉田きみ子 あこがれ
原田光子 朱塗盛器
宮道ユキ子 黒漆器
秦美智子 作品A
小磯弥栄子 白き峰
久野正雄 鎌倉彫丸盆(3)
木下もと子 細帯「波」
木下もと子 間仕切り「糸」
篠塚弘美 ザクロII
久保田厚子 青磁大皿
田野佳代子 海
岡本伸子 紬織着物 稿
熊谷勇美子 宇宙
熊谷勇美子 凸
森恵子 山茶花
渡部はつ子 暖日
乾定夫 断想
中村裕子 有線七宝額 クジャク
桑名美津子 絵紺「植物群落」
桑名美津子 驟雨
佐藤由美子 春の詩
蘭山千恵子 もえる日
横山雅美 青の情懷
森脇敏 流
三田雅恵 春を待つ

関口重子 光影
 宮崎さつき 風のゆくへ
 安藤弘子 終日
 高城由美子 樹の詩
 徳富和子 古墳A
 渡辺恵美子 開
 桜井光美 廟
 奥野花代子 タペストリー「青い空へ」
 林 亘 クリスタル花器「悠」
 湯村京子 ケーキ屋のディスプレイの
 ための試作 No. I & No. II
 岩澤健吾 展望
 宮本正義 形
 宮本正義 リズム
 北村訓子 華
 松岡和子 紬帯「波」
 茂登山泰晴 鉄軸鉢
 東日出夫 逆転する空間 (Buddha から
 のイメージ)
 太田信夫 線描文鉢
 五味彦一 呉須流紋灰軸壺
 神山翹光 パンチボールセット (金書
 花柄模様)
 関田栄也 やすらぎ
 木内隆男 形体の中の負
 平岩共代 彫金ブローチ “作品1 から
 4へ”
 萩原千子 紫色の幻想
 饗場睦子 少年の日
 加藤豊紀 優艶
 佐藤敏枝 蝶
 門田ヒロ子 愁
 鈴木恭子 花深 (紬コート地)
 佐藤靖房 白耀
 石原昭美 象嵌浅鉢
 植村文一 鉢

野口章子 灰釉鉄絵皿
 森かよ子 ボカン・ボカン・ボカン
 鐸木能子 無心
 井手久美子 作品K
 大江まみ子 ペンダント
 樋村允彦 '76 態 (誕生)
 松本道子 銀河系
 小林公子 春日和
 津田照代 タピストリーB
 三嶋真人 トルソA
 三嶋真人 トルソB
 三嶋真美 晴れの日のコンポジション
 榎本未生 殺害者は太陽かそれとも鳥
 か
 若月道子 帯
 南雲陽 内蔵する角体
 中野佳子 スペースデバイダー
 村田尚武 線文花器

書

町田春華 寒山詩
 増山咫鳳 石居易 (長恨歌)
 小山誠一 近代詩文
 久保田芝光 和歌
 関口和雄 李賀詩蘇小小歌
 宮川フジ 金槐春のうた
 伊藤翠香 新古今集の歌
 秋山松香 会津八一の歌
 生嶋静月 杜甫詩
 佐藤柚処 李長吉歌詩李憑箜篌引
 丹羽蒼処 陸游詩寓驛舍
 原茜処 李嘉祐詩一首
 田澤涼 孟浩然詩二首
 谷口春泉 蘇東坡詩

近藤春柳 岑参の詩
 森草波 寒山詩
 舟山義勝 李白の詩
 鈴木蓉処 書磨崖碑後
 服部盤香 温庭筠詩更漏子その二
 小林麗峰 拈華微笑
 岸香流 七言古詩杜甫
 奥翠月 鄭谷之詩二首
 横田南畦 張九齡詩
 南茗陽 寒山詩
 塚越博 七言絶句五首
 星光陽 夏目漱石詩
 杉山紫苑 李白詩
 後藤霄鈴 李白詩
 柴田房枝 唐詩
 田口鵬山 戴叔倫詩
 吉沢菁菱 李太白詩 (草書)
 川瀬魚石 近代詩文
 小林小笛 和歌一首 (美しき)
 斎藤竹風 ト部奈良男の句
 野田澄子 百人一首抄
 浜本茂 堀口大学の詩
 村野正八郎 啄木 (小字教)
 森山カヨ子 白秋永日礼讃
 八木香葉 北原白秋詩 [金]
 渡辺美代子 北原白秋 [新月] より
 大村雅子 近代詩
 伊奈翠陽 近代詩
 荒井芳香 堀口大学「白い輪」
 間馬敬竹 近代詩文サトーハチロー作
 (ちいさなちいさな水車)
 今井利津子 竹林幽居
 田中茂子 ひさかたの
 斎藤右波 針切抄

石川春羊 香紙切抄
 榎原君子 高野切第一種抄
 春山右濤 干謙詩題畫
 平田十臥 宋之問詩
 石井蘭如 良寛詩
 林如巖 良寛詩
 甘粕如香 良寛詩
 矢島撫周 王維の詩
 池田俊一 金冬心臨書
 高崎翫畠 蘇東坡詩
 小林彩畠 李白詩
 中澤俊男 近代詩(牛)
 堀柳竹 近代詩(おやまのこどもたち)
 渡辺ための 近代詩(蜻蛉)
 加藤翠郷 陸機詩
 杉山房義 閑意(陸游詩)
 千葉南道 細井平州詩
 川口流波 戴梓詩
 篠田朋泉 闕鶏
 村上紫茜 龔自珍詩
 鈴木孤春 王維詩
 松橋勝子 古今和歌集秋歌下
 木下柳塘 王安石詩
 武田清美 孟浩然詩
 桐山晃洋 杜甫詩
 枅岡梅塙 万葉のうた
 日野珠光 万葉集
 阿部啓圃 百人一首
 八隅眞佐子 李東陽詩瓊島春雲
 登坂天夢 岑參詩
 小林光葉 白楽天詩
 石渡金陸 墨水秋夕
 林静葉 寒山の詩
 三浦美園 趙之謙の詩

三津木芝影 李商隠詩
 関美代 白楽天の詩
 川越秋声 懷素千字文
 山田愁風 白楽天詩
 大井敬代 李商隠
 須貝越葉 白楽天詩
 原田義鳳 曹植之詩
 山本花聲 黄庭堅詩
 八島幽月 寒山詩
 大矢鳳城 自詠詩「印度賛歌」No. 3

写真

欄木敏郎 ヴァレ・ブランシュ(白い谷)
 小林審一 N子
 片野勝也 日曜菜園
 大平健治 秋色の街(組写真)
 小林治雄 おうむ
 牛田恵美子 水まさ雲
 鈴木武 霧を吹く(組写真)
 河内清 忍野富士
 安藤俊紀 仁科明子さん
 宮尾丈恵 祭り日
 諸星又春 富岳讃歌(組写真)
 宮崎司好 舟だまり
 柴田金一 晩秋の詩
 頃末喜久男 飛翔
 宮崎誠子 渚の詩
 三井文一 日本民家園の印象
 斎藤勝 熊
 増田智生 マナヅルの飛翔
 岡田和雄 ワカメを拾う老婆(組写真)
 林勇 アルプス涸沢(組写真)
 今井重幸 楽屋(組写真)

鈴木裕 キリン舎
 鈴木裕 白くま
 矢島忠 廃墟(プリズン)(組写真)
 宮崎紀英 網をつくろう老漁夫
 津久恵 神輿渡御(浜降祭より)
 田辺昇一 ヌード
 高橋好信 雪溪
 金親敏雄 闘犬
 福田勝義 葬儀
 山崎廣 亀ヶ谷切通し一散見
 中尾務 氷花
 高橋正雄 望
 越水亀太郎 光る浜
 佐藤力三郎 凍結する湖
 小林文比古 老婆
 尾作武 現象
 久保田正敏 猫
 浦野長治 彩雲
 平井重男 道
 川崎光雄 寝苦しい夜
 荒井信明 暮色
 吉田健吉郎 コスモス
 竹田景治 祭りの合間(日本の秋祭)
 岩田修 朝市スナップ(飛騨高山)(組写真)
 清水孝敏 ポートレート
 目見田正 渚
 石塚力 イランシラーズ郊外にて
 真殿礼次 ファンタジー
 足立隆市 絆
 竹内藤三 造形B
 峯岸誠一 凝視
 平良日出夫 怨恨
 尾関覚 情景A
 石川昭朗 取りあい

大 九 三 郎	め
藤 田 仁	好きな娘 1977.1.1. II
雨 宮 丈 三	北国の印象
須 田 道 子	置去り
高 橋 亜弥子	女
舟 橋 明 男	影
赤 前 正 男	金明竹
塩 原 康 八	HOLIDAY 76 (組写真)
吉 川 隆	北辺の漁夫
矢 花 一 弘	路傍の記
高 橋 博 英	守る (サル)
堀 坂 和 夫	攻防
鈴 木 健 二	出漁の見送り
野 田 茂 十	ローカル線の子供
桜 井 開 次	雪の渡し舟
森 島 信 夫	20の使徒
関 勇	雨の境内 (組写真)
川 部 庫 太	出漁するカヌー (バリ島にて)
小 西 伸 彦	白い時間
石 田 太市郎	習作(2)
栗 原 寅 吉	黎明
片 野 紀 行	SKI トレーニング 2
小 寺 貞 治	山里
山 崎 隆 義	磯笛 (組写真)
木 村 杏 平	巳年の女
菊 地 喜 保	マレーシャ旅情 (組写真)
中 西 栄 造	格納庫あと
馬 場 純 一	悔恨
深 瀬 幸 範	異国で出会った友
原 田 秀 樹	雪の日 (組写真)
長 沢 晴 夫	シャボン玉
古和口 次 男	石塀
渡 辺 一 彦	暮色

藤 倉 忠 明	少女
萩 谷 芳 美	おんな
石 井 邦 博	ハト
鈴 木 英 雄	廃船 (組写真)
豊 田 記 子	私のマドモアゼル
臼 居 一 雄	まつりの留守番
島 津 多 鶴	まつりの日
直 井 三 男	祭りの夜
益 子 七 郎	祭りの役員さん
相 沢 正 一	舞い
青 木 繁 雄	みなと町外川 (千葉県)
小 林 富一郎	あれから3年たちました (戸塚区品濃町)
岩 本 敏	新春漁港(A)
石 川 正 秋	遮光
山 中 守 正	尾瀬沼仲秋
川 端 積 造	姉妹
山 田 稔	ある日のベンチ
石 渡 四 郎	下町裏通り (組写真) (尾久堀船附近)
梅 田 修	オーストラリア紀行
松 尾 太司夫	雲漢
青 木 司	冬暮れの海 (組写真)
住 江 正 範	動物三態 (組写真)
望 月 従 道	ふるさと (組写真)
望 月 資 介	晩夏
笹 尾 佳 夫	メルヘン
佐 藤 正 一	夜明け前
木 村 久 子	明治の館
浅 見 清	光る海
平 林 利 明	秋
松 原 勇 吉	大磯左義長
遠 藤 新 二	人生
星 子 省 造	伏見稲荷の印象
森 田 良太郎	頑張れ達磨大師

小 川 実	少女
星 榮 寿	時世
中 川 みさご	タローくん
圓 木 健 市	Hair

コンクール展講評



日本画

日本画の出品点数は前年より減少したが、その作品の質は全般的に見てむしろ向上してきている。

また図がらが小さくとも内容的に充実した作品が多く、とくにここ2～3年来続けて出品している作家の著しい進歩が感じられた。

搬入された出品作品56点（49人）の中から審査の結果25点（24人）の作品が入選となり、これら入選の作品の中から目についた作品としては、長沢昭朗の「毀」、桜庭春来の「作品Ⅱ」の2点をまず挙げねばならないだろう。これら2点の作品は内容的に非常に充実して、東洋的な感性、感覚を思う存分発揮しており、このことはいままでにみられないことであった。

また田部井月四の「アキコと私」、鈴木紀彦の「壚（デルフォイの神域）」、仙波存乃恵の「猫礼讃」、加藤敏夫の「虚空」などの作品については、洋画の造形性を洋画以上に日本画の世界で生かしており、日本画世界の広さの無限なことを証明しているといえよう。

極めて厳しい技巧を要する日本画に取り組んでいる若い作家の人達の今後の一層の精進を期待してやまない。

大森運夫、竹田道太郎、月岡榮貴



洋 画

全般的に昨年より出品数が減少したようであるが、審査をとおして作品の質についても、やや消極的な印象が残ったことを否定できない。その根本的なことは、制作上の動機が何処にあるのか、たしかなリアリティの認められない作品が多かったように思われる。また画面の構成や総合性についても、持続的な作業の追求が乏しかったのではないかと思われる。

作品が小さく単発的にまとめられているというパターンが一つの類型として目立った。

「何を画面に定着させるか」という実体や作画以前の姿勢が問題としてクローズアップされるのである。具象的な作品には画面を深追いしたためか、重く、湿潤なものになってしまったものが多かった。また抽象的な作品の中にはおしなべて安易に取り組んだと思われるものがかなりあって気になった。そのようななかで、発想の動機のとしかな作品は当然魅力ある内容を提示してわれわれに語りかけてくれたのである。

泉谷淑夫の「愁傷のモニュメント」、宮田翁輔の「人形と化面と」、堀井正明の「花火のあがる頃」、内柴静子の「作品77(1)」、田部井要の「走る(子どもの夢)」など、これらの作品はこのようなきびしい批判にも充分応えることのできる作品であった。若々しい個性を反影した意欲的な作品の出品を望みたい。

井上俊郎



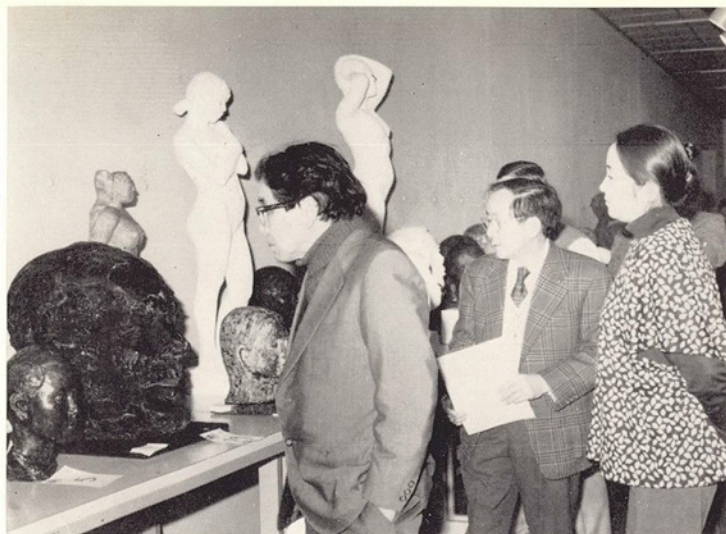
版 画

今回、出品された作品は全体的にみて技術面はかなり向上してきているが、基本であるデッサン力はまだまだの感がある。当世流行の写真製版による作品が多いが、テーマや作家が何を描こうとしているかの意図が曖昧で、単なるアイディアどまりになってしまっているのはまことに残念なことである。

創り出す努力を今の若い作家は惜しんではない。

一般に普及されていると思われる木版において、今回見るべき作品が少なかったのはどうしたことであろうか。コツコツと版として作品を創り出し、技法やアイディアにまどわされない個性豊かな作品を創造して欲しいものである。

大内マコト



彫 刻

従来と比較して、審査の対象になり得ない作品は少なかった。応募作品50点（29人）の中から造形的意図の明確なものからとりあげ、結果として18点（17人）を入選としたが、傑出した作品がなかったのは残念であった。

前回に比して入選点数を増やしたのは、できるだけ多くの作品を陳列し、それらの作家から可能性を引き出す意味を含めたためである。個性がわかりやすいのでなるべく2点以上を出品して欲しい。しかし全く違った二つのスタイルの作品を出品するということは、どちらも自己のものとは言いがたい。名作の再現は創作とはなり得ない。10年続けてなお進歩も変化もない人は、もう一度基本にたちかえってやり直す必要がある。

彫刻を志す人に強くいいたいことは、自分のフォルムを発見し、メチエとマチエルを創造することである。一般にメチエの研究がたりないと思われる。メチエの進歩発展により、一段と光彩を放つことができる。今日行なわれているデフォルメは感性が強く、理性による実体の解明・分析がかけられている。感性のみにたよると単調ですぐゆきづまって、自然の破壊に終わり、怪物になってしまう。

菅沼五郎



立体造形

前回と比較して、全般的出品点数が減少したようであるが、特に立体造形部門は激減した。

一体こうした傾向はどうしたことであろうか。この原因として考えられることは、立体造形部門は若い実験的作家が多いことから、これらの若い作家の人達が公募形式の展覧会に魅力なり、関心を示めさなくなったことであろう。また、ある程度出品者が固定してきていることも考えられる。

今回の応募作品の傾向をみても、全般的に技術的には優れたものが多くなったが、ユニークなものが少なく、発想のおもしろさがないように見受けられる。従来の「彫刻」とは異なったジャンルとして位置づけられている「立体造形」は、その表現領域も、現在ではますます多様化してきている。若い作家たちは、そのような表現物の展示の機会を望んでいると思われるので、本展立体造形部門では、今後はこうした作家の期待にも十分に応えられるような方向で、考えて欲しい。

斎藤顕治、真板雅文、蜜波羅伸三



工 芸

前回には見事大賞を獲得した工芸部門だけに、今回の応募作品の中には仲々見ごたえのあるものが多かったようである。しかし全体的に言えば昨年よりもレベルが一寸下廻った感もないではなかった。

141 名による 196 点の応募作品は、数の上では前回と比べて作品で 8 点減、作家数で 9 名増加という微妙な現象を示しているが、未だにまだ美術らしからぬ作品がかなりまざっていたことは事実であり、これは大いに検討を要する問題であろう。

審査員の熱心な討議や投票の結果、85 点の入選が決定したが、さらにその中から大賞候補として山下了^{のりゆき}作「小さな音」(染織)、賞候補一^{つくり}席村主武作「ペルシャ青磁釉壺」(陶芸)、同二^{まさひろ}席辻雅洋作「BOX No. 2」(鍍金)、同三^{あかね}席永田秋岳作「小菊文色紙箱」(鎌倉彫)、同四^{としお}席竹村佳男作「とざされた街」(木工)、同五^{あかね}席吉田垂火祢作「ある曲面」(陶芸)、同六^{えなり}席江成房子作「萌芽」(人形)、同七^{はた}席乾定夫作「断想」(漆工)が選出された。いずれも優劣をきめかねる力作である。なおそのほか、秦美智子^{はた}作「作品 A」(染)、奥野花代子^{かよこ}作「青い空へ」(タペストリー)、湯村京子^{きょうこ}作「ケーキ屋のディスプレイのための試作 No. 1」(陶芸)、横山雅美^{まさみ}作「青の情懷」(彫金)、木内隆男^{きうちら}作「形体の中の負」(木工)などは夫々審査員の注目をあび、話題となった佳作であった。

吉田耕三



書

神奈川県美術展のレベルの高いことについては今更私がここで多言を要しないところであるが、本年もまた応募作のレベルは、さすがに全国屈指といってよいと思われた。全体的レベルの高いことから鑑審査に当たっては慎重の上にも慎重を期して臨んだ。これが出品者に対するわれわれの礼であるからでもある。このことについては、立ち合いの実行委員諸氏からも、県展の審査状況を公開して出品者にも観覧させたいくらいだ……という声が出ていたことが如実にこれを物語っているといえよう。それほどいいねいにいいねいに眼を通してのが県展の審査なのである。入選者諸氏におかれてはこの意味からいっても県展入選の価値の重みを大いに自覚していただき、今後大いに誇りと自信を持って精進を続けてほしいものである。

さて、入賞作についてであるが、このように選びに選び抜かれた上での受賞であるが、ここで言いたいことは、特に傑出した作のなかったことである。序列はついたものの、どの作を見ても優劣のつけ難い作であったといえるのである。賞に漏れた作の中にも、今後の本展書道の部門の担い手となるであろう新人のひしめいていることも特筆したい。

なお、前年度私が示唆した料紙や意匠については、実に多面的になり意欲を見せたことは喜ばしいことであった。しかし、中には料紙や意匠に凝りすぎて力の伴なわぬために落選のうき目を見た作も数点あった。やはり書はあくまでも書そのものの力がすべてを決するということに気付いてほしいと思った。

殿村藍田



写 真

今回は、新人の進出が特に目立ちました。入賞者12名のうち新人は9名で、一般入選者も同じような割合ですので、明日の県展の発展のために、新人の今後の勉強を大いに期待します。

県展準大賞に輝いた高橋勤の「MELANCHOLY」は、黒人との混血女性が屋根裏のブランコで、憂うつな時を過すというたくみな舞台の設定に成功して新鮮でした。特選の菅家隆雄の「女体」は、ヌードのソラリゼーションの色彩感覚が抜群の美しさでした。造形的には、真中の写真がすぐれています。武田聡の「横須賀ストリート」は、最近の横須賀イメージがよく活かされて好感が持てました。新人の台頭と同時に、三人の大ベテランの活躍も、話題の一つですが、浜谷浩の実弟の浜谷了一の「獅子舞う」は、ベテランのカムバックの作品で、さすがに獅子舞の動きと色彩のよさがよくミックスされた佳品です。

加藤惣平の「北のたより」は、「北の宿」の流行に引っかけて、歌とは反対に明るい北国の子供のたよりを歌いあげて清新です。常連の鯉登勝彦の「集団物売り」は、この作者には珍しい東南アジアの写真ですが、さすがに観光的な浅い見方でなく、バリ島の人々を深く視察しています。石黒忠夫「矢上神代かぐら」、片岡須一「ゆれる街」、香山修「草競馬」、上平昇「ケニアの家族」、榎田守「祭礼」、伏見宏の「あねご」の新人達の健闘に心からな声援を送りたいと思います。

奥村泰宏

招待部門作品目録

日本画

小倉遊亀	紅白
森戸國次	朝
石川響渚	渚
小島昇嶽	嶽
蓮尾辰雄	髪
入江正巳	金波
大山鎮	母子(漁婦)
中野嘉之	春を待つ
結城天童	草春
上田臥牛	花卉
田島なす美	黒い犬

洋画

中谷龍一	高原
岩館知義	風景
木下壽々子	シンガポール
小泉元生	風景
源川雪藤	藤
吉崎道治	風景
寺井重三	踊り子
藤浪成喜	運河
泉文子	バレエ着の少女とばら
谷合浩典	女優
村上耕一	風景
国領経郎	赤い服
桜庭彦治	風景
新井康須雄	建物
石田精吾	マカオ
阿部和美	ベニス
井口啓人	人
梅林良子	森の記録

矢野雅章	朝の海
樋口善一	阿蘇
飯島義也	ざくろのある静物
森本博子	人形
杉田義雄	湖北の雪
佐々木文綱	風景
出口竜王	夜の POEM
進藤清	腰越暮色
添田定夫	風景
内藤雅彦	静物
佐々木雅人	岳(上高地)
鈴木雪子	春
井上正子	北欧の菫月
増田常吉	風景
川島實	秋
川口栄	力二
田中君江	海辺の街(カンペチエ)
佐藤美子	牧場
戸津文雄	桜島
岡野正樹	朝
岩田栄之助	アマリリス
遠藤典太	冬の木
田中寿太郎	武蔵野風景
横尾丈夫	石仏(ボロブドール)
田代利夫	作品O・T
田辺謙輔	コンテレルスの丘
小清水金司	蟹ヶ沢風景
相吉沢久	小さい家
益田義信	パリー小公園
安富信也	風景から
高瀬捷三	磯の幻想
赤岩賢三	月に奏でる
杉本賢司	仮面
石井佐一	風景

江見絹子	飛翔
岡村芳男	雲の群(田沢湖)
志村計介	風景
江添栄一郎	『冬のヘラート』アフガニスタン SILKROAD
土井俊泰	フランス人形
西野久子	エチオピアの少女
北岡数彦	アテネの午後
杉浦勝人	姫リンゴのある静物
遠藤慶一郎	秋紋
相沢正	態—B
阪本文男	帰ってからのアリスの遊び(かざぐるま)
勝呂忠	夢幻の象
木村一生	気配
木村良枝	弧
曾根亮	作品
永井肇	青い草
大津忠太郎	黎明
黒岡俊久	想
栗原喜依子	白い家
鶴田猛	風景
河野日出雄	少女
江川光信	繁み
神部修一	木精
浜田嘉代	ローテンブルグ
荒井茂雄	花と鳥
柴田周一	作品'77—7
田沢茂	民話四季
小関利雄	風景
柴田善登	浅間遠望
安保健二	ノルマンデーの港町
市川勉	伊豆の湯ヶ野風景
瀬島好正	かたち

河 西 忠 雄 ビンソン通りの中庭
 斉 藤 義 重 Dissymmetry
 稲 葉 治 夫 Stripes[d] 77・1-1
 油 野 誠 一 風景
 細 井 千鶴子 まひる
 田 賀 亮 三 白日に
 広 瀬 一 二 風景
 宇都宮 マリ 或る日
 三 橋 兄弟治 作 品
 井 上 俊 郎 晚 秋
 森 秀 男 待 っ
 塚 谷 恵津子 虚妄の賦 (77-10)
 森 川 ユキエ 静物(青つづらふじのある)
 和 田 松 久 クッション
 湯 川 治 郎 腕をもつ女
 寺 田 春 式 芍 薬
 佐 藤 努 涼
 菅 野 功 ガリラヤの春
 千 田 高 詩 静 物
 中 西 新太郎 Message in blue
 浅生田 光 司 秋
 金 岩 清 隆 雪 景
 越後島 芳 明 鳥
 後 藤 武 久 風景
 善 浪 迪 飛鳥風景
 川 村 直 子 箱根の富士
 DRAWING OF THE
 DEGREE ZERO
 金 沢 博 風景
 江 波 伸 層 AP-2015
 笹 英 子 海辺の石切場
 鈴 木 充 朗 計 画
 長 宗 希 佳 人のいる風景
 高 瀬 哉 沖 群 像
 伊 藤 愛 子 はたけの話
 熊 沢 淑 超
 大 道 健 治 舟泊り
 加 藤 義 雄 静物

猪 瀬 踏 花
 渡 辺 豊 重
 高 木 敏 行
 村 田 省 蔵
 島 田 四 郎
 古 川 益 弘
 安 喰 虎 雄
 松 本 久 男
 山 崎 秀 夫
 塚 本 茂

版 画

馬 淵 聖
 馬 場 禱 男
 大 内 マコト
 岩 見 禮 花
 棚 木 順 子
 相 笠 昌 義
 斎 藤 カオル
 若 江 漢 字
 吉 田 克 朗

彫 刻

高 田 博 厚
 武 次 郎
 河 原 明
 山 本 正 道
 榎 山 三 毅
 伊 藤 芳 雄
 長 江 録 弥
 浅 井 行 雄
 圓 鐔 元 規

ローマ黄昏
 三本の曲りと三点そして
 一本
 こわくてかくれた
 白馬初冬
 女とネコ
 風景
 静 物
 信濃追分風景
 ドン・キホーテ
 下曾我早春

静 物
 MADE IN JAPAN
 MY AUSTRALIA
 (わたしのオーストラリア)
 八月の水
 作品-76-4 (しずく)
 ねむる女
 かげと帽子
 箱シリーズ
 メールアード '77
 Work 55
 女の裸像
 H夫人像
 おんな
 遺跡の見える風景
 観 音
 視つめるアフガンハウンド
 アダム
 立 像
 ひろこさん

斎 藤 高 徳
 中 村 宏
 安 田 周三郎
 松 本 繁 来
 圓 鐔 勝 三
 桑 山 賀 行
 井 上 信 道
 西 谷 富士雄
 垣 内 治 雄
 井 上 玲 子
 金 子 典 義
 菅 沼 五 郎
 坂 上 政 克
 広 瀬 和 子
 裸 婦
 若い女
 異形A
 髪
 新 聞
 雨が降り
 女
 女
 飛翔“VII”
 在 る
 女
 裸 婦
 Gの8
 パウリスタ

立体造形

斎 藤 顕 治
 今 井 由緒子
 反力指向2
 A. C-7 A 17.5 kg につい
 て (I)
 A. C-7 A 21.3 kg につい
 て (II)
 加 藤 義 郎
 山 井 イク夫
 伊 藤 隆 康
 菅 沼 緑
 真 板 雅 文
 大気・水
 LANDSCAPE-1977
 作品1-77
 愉悦的記録作品
 風 景

工 芸

赤 地 友 哉
 赤 堀 郁 彦
 飯 野 啓 三
 菅 間 ゆみい
 野 田 行 作
 各 務 鑽 三
 吉 田 丈 夫
 産胎喰籠
 求 心
 街
 南 花
 蓋付椀5客
 クリスタル硝子花器
 クリスタル硝子花器

青野武市 クリスタル硝子花器
 小林貢 飛沫
 大宮希敏 Life Box No.1
 今井久江 華
 慶寺丹長 青銅大輪花器
 中田呂尚 刷毛目兎鉋付鶴首釜
 永井鐵太郎 オーガニック・コンボーズ
 山口壽雄 飛鳥文花瓶
 石川充宏 トルソ
 暮田延美 帯・北の湖
 佐藤もとい 花のうたげ
 廣井樹美 華跡
 浜田真爽子 紬「麻の葉」
 平田徹子 双
 山岸南子 赤い花
 林喜美子 街
 鎌田恵子 風景
 市橋とし子 甕光（よみがえる光）
 野田芳正 曼陀羅
 前田金彌 春宵
 橋本公恵 雪あかり
 小菅春代 早春譜
 上村桑子 秋づり
 佐々木ゆき枝 春日
 河村又次郎 窯変彫文長皿
 芝山吉邦 心象
 鈴木三成 青磁壺
 小嶋章光 花器
 加藤皇 流円
 小田垣要司 彩盛椿水指
 林良達 $\frac{1}{2}$ 球体と角の構成
 安田律子 赤絵花文皿
 松井三郎 セレモニー'77
 馬場松堂 作品'77
 大菊昭治 四羽の白鳥
 水谷豊 作品77 No.8
 江刺栄一 風のかたち

小野次雄 乾漆輪花盆
 竹内佳夫 作品77
 尾留川忠 鎌倉彫鉢
 星野光雄 鎌倉彫棗菱形文波
 佐野登志子 輪
 北条とみ子 Apple
 國行道子 Le carré
 水野矯夫 '77構成 No.1

書

青木香流 二黒土星
 天野翠琴 夕方の星
 荒井香竹 高村光太郎の詩
 荒木幽芳 和歌 四首
 池上鶴洋 曹植詩
 鶴飼寒鏡 古歌
 及川初恵 顔真卿作 祭姪稿臨
 大島嵩山 王維詩
 大西芳流 未定
 大道静波 未定
 岡田扇香 若山牧水の歌 春の夜の
 川口芝香 太田垣 蓮月の歌
 佐々木如空 良寛の詩
 斎藤丹鶴 李賀詩
 志賀正枝 和歌
 重田翠村 黄山谷詩
 島津碧嵩 蘇軾詩
 鈴木小江 花
 鈴木龍雲 王維詩
 仙場右羊 明鏡止水
 竹田悦堂 釈道空の歌 青葉
 田中真洲 已
 溪口幽城 欲速則不達
 殿村藍田 唐詩
 中平南谿 散懷抱

中牟田幸子 金子光晴詩集「蛾」より
 『牡丹』の一節
 中村松堂 五言一句 松堂作
 中山鶴雲 寿昌
 西川万象 李白詩
 萩原櫛風 黄公度詩
 西村西洲 椿萱
 比田井南谷 「76-2」
 船橋春浦 古歌二題
 松本利一 近代詩文書
 山口清苑 唐詩
 吉田蘭処 唐彦謙詩 緋桃
 山本撫嶽 金農詩
 伊東撫劍 七律
 飯原青洲 七言絶句

写真

伊藤藤十郎 忍野富士
 内山知治 五月
 大谷正夫 祈求浄土
 奥村泰宏 森の中
 影山光洋 習学院離宮の秋
 里見力磨 お座敷
 塩田正男 静かなる道（スペイン）
 鈴木健夫 浅草ブルース
 須田恒弘 冬
 常盤とよ子 ボク泳げた
 中島倍三 親子
 野沢喜七 コーナー
 浜口タカシ 北国
 平山勉 稲荷信仰
 平本昌義 夏の思い出
 田中清隆 北極園 マッキンレー山
 佐治利雄 能

第12回神奈川県美術展委員会組織

顧問

日本画

小 倉 遊 亀
中 島 清 之
前 田 青 邨
安 田 靱 彦
山 本 丘 人

洋 画

小 山 敬 三
斎 藤 義 重

彫 刻

圓 鐔 勝 三
高 田 博 厚
安 田 周三郎

工 芸

赤 地 友 哉
各 務 鑛 三
蓮 田 脩吾郎

書

殿 村 藍 田
比田井 南 谷

写 真

影 山 光 洋

(順不同)

委員会委員

委員長

穴 水 清 彦

副委員長

李 家 正 基

菅 原 壽 雄

竹 田 道太郎

土 屋 利 保

寺 田 透

土 方 定 一

三 上 次 男

宮之原 武 雄

吉 田 耕 三

六 川 英 一

山 本 丘 人

小 関 利 雄

井 上 信 道

各 務 鑛 三

殿 村 藍 田

奥 村 泰 宏

大賞・準大賞選考委員

穴水清彦
菅原壽雄
竹田道太郎
土屋利保
寺田透
土方定一
三上次男
宮之原武雄
吉田耕三
李家正基
六川英一
山本丘人
小関利雄
井上信道
各務鑑三
殿村藍田
奥村泰宏

審査員

日本画

大森運夫
加藤東一
竹田道太郎
月岡栄貴

洋画

井上俊郎
江川光信
勝呂忠三
田賀亮三
寺井重三
寺田透一
土方定一
平賀敬男
広瀬義男

版画

大内マコト
斎藤カオル
斎藤清男
馬場禱男

彫刻

井上玲子
菅沼五郎
長江録弥

立体造形

斎藤顕治
真板雅文

密波羅伸三

工芸

青野武市
赤地友哉
江刺栄一
各務鑑三
野田芳正
蓮田脩吾郎
林良達
吉田耕三

書

青木香流
川口芝香
仙場右羊
殿村藍田
比田井南谷
吉田蘭処

写真

奥村泰宏
影山光洋
田中雅夫
常盤とよ子
永田一脩
浜口タカシ

実行委員

日本画

浅見信夫
*大山鎮馨

洋画

井口啓勉
市川栄一郎
江添文男
阪本剛

柴田周一

杉本賢司

*田代利夫

松本久男

内藤雅彦

古川益弘

版画

*日下賢二

柄木順子

彫刻

*垣内治雄

河原明徳

斎藤高徳

中村宏

立体造形

*加藤義郎

小泉勝雄

工芸

赤堀郁彦
大菊昭治
上村桑子

*小林貢

佐野登志子

竹内佳夫

永井鐵太郎

南雲龍

平田徹子

書

池上鶴洋

*大島崑山

佐々木如空

溪口幽城

西川万象

松本利一

写真

伊藤藤十郎

大谷正夫

*里見力磨

塩田正男

鈴木健夫

野沢喜七

中島倍三

*印は各部門実行委員長



新しい年ですネ
ジョイナスも
満4歳です。

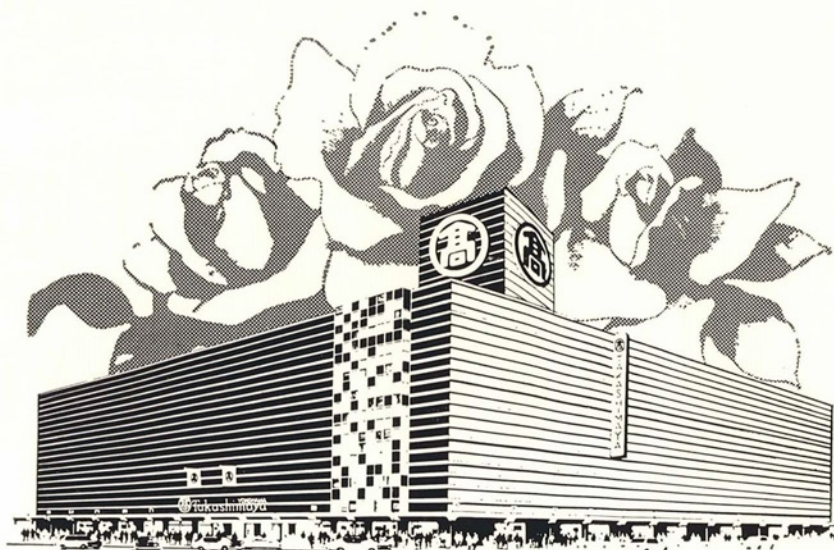
ジョイナスらしく。
あなたらしく。

my^{o9}

ことしもいきいき

SOTETSU
JOINUS
ヨコハマ西口

確かな暮らしをおとどける バラの横浜タカシマヤ



水曜定休
横浜高島屋
電話 / 横浜045(311)1251



ご好評!

横浜三越—4階

〈E・Oの特色〉●流行の色や好きな柄をご自由に選べます ●ニュートラやコンチなどのシルエット、三ツ揃い、ダブルなどのデザインも思いのまま ●ペン差しポケットや、ディテールもお好みのセンスでOK!

紳士服E・O [イージー・オーダー]



英国紳士の心を着る〈三越オリジナル高級仕立〉——ヘクターポー

HECTORPOWE

英国の洋服づくりの伝統を生かしたヘクターポーは1920年代から1930年代にかけてのクラシックでしかもエレガントな感覚がリフレッシュされています。



パリのファッションを着る〈三越オリジナル高級仕立〉アルマンチエリー

ARMAND THIÉRY

アルマンチエリーは、モードの発祥地フランスのパリ生まれ。機能に徹したデザインと現代感覚をとり入れたセンスは各国で好評です。



都会的で洗練された英国紳士のファッションを着る——ジョンマイケル

JOHN MICHAEL

ロンドン、サンピローにアトリエをもち“伝統の技術”を愛し“新しい感覚でファッションを創造”するデザイナー ジョンマイケル—三越オリジナル高級仕立です。

横浜三越5階美術ギャラリー

●日本画・洋画など世界の一流作家による
展覧会を毎週開催いたしております。



西口正面
横浜三越

横浜市西区北幸1-2-7 TEL (045)312-1111

望む、比較。

貯蓄の方法を厳しく選択したい時代です。
1分1厘の違いが、結果に大きな差をつくります。
元金が大きければ大きいほど、なおさらのこと。
東洋の貸付信託を、あらゆる角度から
比較されるよう望みます。

東洋信託銀行

横浜支店（横浜駅西口前）（045）311-2421

まとまったお金を加速度をつけてふやす。――

東洋の 貸付信託

- 元金保証 ●一万円単位
- 無記名式もあります。
- 優扱いならお一人元金300万円まで無税。
- お近くの郵便局からお申し込みになります。
（無料で送金できる振替用紙をご請求下さい。）

積立に最適な――

東洋の 金銭信託

- 元金保証 ●1回五千円以上
- ご都合に合わせて満期日が決められます。
- 優扱いならお一人元金300万円まで無税。
- ふやしながら、なしくずし的につかえます。

お問い合わせは、横浜支店まで、
お電話で。

かるかると、小型軽量世界一。

さらっといい写真を。



自動マイクロ一眼 新発売

- 世界最小最軽量の自動露出一眼レフ
- 16段階のLEDでシャッター速度表示
- 機動性を発揮するワインダーME
- 機動性抜群のバヨネットKマウント
- 小型軽量SMCペンタックスMレンズ

ASAHI
PENTAX

ME

旭光学商事株式会社 〒232 横浜市中区不老町1-4-6 東明ビル旭光学横浜営業所

サクラカラーII

信頼のおける品質を

迅速におとどけする

プロ用カラープリント
アマチュア用カラープリント

株式会社 京浜現像所

横浜市神奈川区新子安1-22-22

TEL 045(431)7221

サクラカラーII

話題の2つの人気もの

ポストカード

実用新案出願中

KFPカード

- どんな筆記用具でも自由に書け面質の損傷はございません。
- 表面は通信文記入用と住所欄専用の二種類がございます。

標準小売価格 8枚1組1,000円



カラー名刺

KFBカード

- 初対面のあなたをよりイメージアップするカラー名刺で「鮮明な印象・親しみ」をいつまでも与える情報化時代にマッチした製品です。

プリント価格50枚1組1,800円

お取扱い希望店に
焼見本・資料進呈



株式
会社

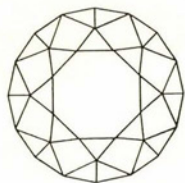
フジカラーチェーンラボ
神奈川フジカラー

〒241 横浜市旭区川島町2888

TEL 045(381)7111(代表)

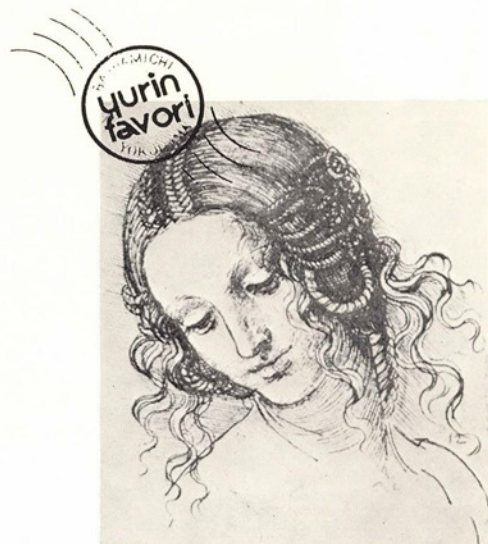


さわやか ショッピング



横浜駅西口
ダイヤモンド
地下街

TEL (311)1221
180の有名専門店
380台収容の地下大駐車場



限りない美への追求は、吟味され
選びぬかれた材料から…………。

洋画材料・日本画材料
デザイン用品の専門店

——ヨコハマ馬車道——

 **ユーリンファボリ**

■2F=マイフェバリットルーム（インテリア小物etc…） ■3F=ブックスルーム
■4F=アーティストルーム ■5F=デザインルーム ■6F=サウンドルーム
■7F=ギャラリー ☎(045) 662-1231

☆グループ展に…個展に…作品発表の場としてご利用ください

有隣堂
ギャラリー ご案内

ヨコハマ馬車道 【グループ・団体展向】 横浜駅西口トーヨー地下街【個展・2,3人展向】
●ユーリンファボリ・7階ギャラリー ●有隣堂西口ギャラリー

※ギャラリーについてのお申込み・お問合せは有隣堂宣伝課ギャラリー係へどうぞ。TEL.(045)261-1231大代表

発行 神奈川県美術展委員会

表紙デザイン・レイアウト 金澤 博

製作・大塚巧藝社

